

衆議院安全保障委員会ニュース

【第203回国会】令和2年11月19日（木）、第3回の委員会が開かれました。

1 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第7号）

- ・岸防衛大臣、鷲尾外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・赤嶺政賢君（共産）及び杉本和巳君（維新）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、立民、公明 反対－共産、維新）

（質疑者）柿沢未途君（立民）、村上史好君（立民）、照屋寛徳君（立民）、赤嶺政賢君（共産）、杉本和巳君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

柿沢未途君（立民）

（1）海上自衛隊の装備体系の在り方

- ア 本年10月に米国のエスパー国防長官（当時）が明らかにした米海軍の新たな艦隊構想「バトルフォース2045」の内容に関する防衛省の把握状況
- イ アで言うような米海軍の長期的な戦力構築に係る計画の転換が我が国に及ぼす影響
- ウ 防衛計画の大綱が改定される場合に、米国にならない小型かつ攻撃力の高い艦艇を多数導入する方向性を盛り込む必要性
- エ 米海軍の構想を踏まえた我が国の潜水艦体制の在り方
- オ 防衛計画の大綱が改定される場合に、無人艦艇や有人無人切替え可能な艦艇等の導入により無人化・省人化を図る方向性を盛り込む必要性

（2）台湾をめぐる情勢

- ア 昨今の台湾周辺における中国軍の活動に対する岸防衛大臣の評価及び台湾有事が重要影響事態安全確保法に基づき重要影響事態に認定され得るとの考えに対する岸防衛大臣の所見
- イ 日台間で安全保障に係る情報を共有する必要性
- ウ 台湾を含む地域の平和と安定は米国の利益に合致し国際的な関心事でもあることを宣言する米国の台湾関係法第2条が武器供与を含む米台間の協力関係の根拠となっているとの認識についての岸防衛大臣の共有の有無

村上史好君（立民）

（1）防衛省職員給与法改正案

- ア 自衛官の人材確保及び自衛隊の充足率の改善に向けたこれまでの取組並びに現在の状況
- イ 陸上自衛隊高等工科学校
 - a 同校への応募者数減少の要因及び改善に向けた対策
 - b 令和3年度予算で同校に新設される見込みのシステム・サイバー専修コースの具体的内容
 - c 女性の活躍推進及び人材確保の観点から同校を男女共学にする必要性についての岸防衛大臣の見解
- ウ 防衛大学校にサイバー分野の専門学科を新設することについての検討状況

（2）サイバー領域と日米安全保障条約

- ア サイバー攻撃に対する同条約の拘束力内容及び攻撃時に想定される米国の具体的行動
- イ サイバー攻撃を武力攻撃と認定する認定者

（3）宇宙領域と日米安全保障条約

- ア 同領域における他国からの武力攻撃が同条約の適用対象であるか否か

- イ 米国の人工衛星が武力攻撃を受けた場合に我が国が集団的自衛権を行使する可能性及び行使する場合に想定する我が国の具体的な行動についての岸防衛大臣の見解
- ウ 我が国の人工衛星が武力攻撃を受けた場合に米国に集団的自衛権の行使を要請する可能性
- (4) バイデン次期米政権における米中関係及び台湾をめぐる中国の動向についての岸防衛大臣の所見
- (5) 尖閣諸島防衛
 - ア 中国海警局の任務及び権限を明文化した法案が全人代で採択された場合に同局の活動が活発化し緊張が高まるとの懸念に対する岸防衛大臣の見解
 - イ 日米安保条約第5条に基づく米国の対日防衛義務の履行可能性についての岸防衛大臣の見解

照屋寛徳君（立民）

- (1) 多くの米軍が駐留する在沖米軍基地の実態に対する岸防衛大臣の認識及び大臣所信で述べた基地負担軽減の具体的な内容
- (2) 戦後強制接收された米軍嘉手納弾薬庫地区のフェンス内にある御嶽（ウタキ）前で拝めるようお願いする読谷村旧牧原集落住民の要望の実現へ向けた岸防衛大臣の決意
- (3) 沖縄市嘉間良地区へのカマラ・ハリス氏の招へい
 - ア 米副大統領就任が確実となった同氏を同地区に招へいし女性リーダーのサミットを開催することを求める玉城沖縄県知事の要望に対する政府の見解
 - イ 今般の米大統領選挙の争点となった「多様性」の縮図が従来から嘉間良地区にあったとの考えを踏まえ女性リーダーのサミット開催の実現へ向けた検討を行うことについての岸防衛大臣の見解
- (4) 日米地位協定の抜本的見直しや人口密集地域上空の飛行回避等を求める11月5日の全国知事会の提言に対する岸防衛大臣の見解
- (5) 津堅島周辺の訓練水域における米軍パラシュート降下訓練
 - ア 2017年以降に同訓練の実施回数が急増した理由
 - イ 地元住民が望む同訓練の中止を米国に求めていく考えの有無
- (6) 米軍那覇港湾施設の浦添埠頭地区への移設
 - ア 移設と切り離し同施設を先行返還するという玉城沖縄県知事の提案に対する岸防衛大臣の見解
 - イ 政府が同施設は遊休化していないとする根拠
 - ウ 同施設の使用実績について米軍が2003年以降非公表とした理由及び政府が公表を求めてきた事実の有無
 - エ 同施設への米軍艦の入港や物資の積下ろしの実績を公表する必要性及び移設させず速やかに同施設を返還すべきとの考えに対する政府の見解

赤嶺政賢君（共産）

辺野古新基地建設工事のジュゴンへの影響

- ア 本件工事の影響による南西諸島に生育するジュゴンの絶滅危機に対する岸防衛大臣の認識
- イ 大浦湾の施工区域内におけるジュゴンによる可能性の高い鳴音の検出状況及び鳴音がジュゴンによるものであるとの特定の有無
- ウ 防衛省が同鳴音の調査において助言を得ている海洋生物の専門家の氏名
- エ 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会による鳴音の音声データの確認の有無
- オ 同委員会からの音声データ聴取の要望の有無
- カ 沖縄等米軍基地問題議員懇談会や国内外の専門家への音声データの提出を検討する必要性
- キ 工事の影響を否定する防衛省の見解とそれに疑問を呈する同委員会の委員の発言との矛盾に対する防衛省の認識
- ク 同委員会の委員が影響はないとの結論を安易に出すべきではないと発言しているにもかかわらず

防衛省が工事の影響について否定的な見解を出し続ける理由
ケ 防衛省が工事の影響は「考えられない」から「考えにくい」に表現を変えた理由及び両表現の違い

杉本和巳君（維新）

- (1) ダイヤモンド・プリンセス号における災害派遣活動の教訓及び知見等についての厚生労働省、地方自治体（関連の保健所）、各地のコロナを取り扱う医療・介護・保育施設等との情報共有の状況及び今後更に共有を図っていく必要性
- (2) 宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域及びそれらの統合領域における人的基盤の強化
 - ア 防衛省の現状認識
 - イ 陸上自衛隊と異なり育成機関を有さない海上自衛隊及び航空自衛隊が担う業務や新しい領域等を踏まえ育成機関の在り方を再考し又は共同機関の設置を検討する必要性についての防衛省の認識
- (3) 防衛大臣政策参与
 - ア 岸防衛大臣就任後に生じた異動等の有無及び現況
 - イ 同職に期待する役割についての岸防衛大臣の見解
- (4) 自衛隊のアコモデーション（施設、宿舎等）の現況